

# 七罪日記

メンタル

## 【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

## 【あらすじ】

これは、よくある日記ものです。

あと、作者には文才がなくて拙い文しか書けません。

この作品は七罪の日記を書きたいという衝動に駆られた作者の妄想と駄文で書かれています。

また、原作の七罪のイメージと違ったりするかも知れないのでご注意下さい。

日記ものを書くのは初めてなので、いろいろ変だつたりするかも知れませんが、

それでも構わないという方は、どうか読んでやって下さい。

# 目次

七罪の日常日記	1
七罪の看病日記	5
七罪の看病日記2	9

## 七罪の日常日記

○月A日

なんとなくだけど、やる事もないので日記なんかをつけてつけてみようと思う。土道に霊力を封印されて一週間が経った。ある程度の日常生活を送れるようになったとはいえ、心から落ち着ける場所といえは精霊マンションにある自分の部屋や五河家ぐらいしかない。自分で書いて悲しくなってきた。だって、しようがないじゃない！土道に出会う前はへハニエルで本当の自分を隠してきたんだから。そりゃ最初は、このままの姿で街中を歩いてたわよ。でも、どいつもこいつも偽善ばかり！見た目が幼いからってすぐに騙そうとしてくる奴ら。体だけが目当ての変態共。正直、笑っちゃったわ。変身前の私には、そういう事を平気でやろうとしてくるくせに、変身した後の私にはへらへらと媚び諂って近づいてくるんだもの。まあ、そいつら全員二度と人間として生きれないようにしてやったけど。でも、土道と最初に出会った時は不思議とそんな気持ちにはならなかった。今までの人間なら出会った瞬間に再起不能にするか、オブジェにするだけだったのに。

自分でも不思議だった。ただ、心のどこかで土道みたいな人を待っていたのかもしれない。あれだけ裏切られ、苦しい思いをしたのに。そして私は本当の私<sup>七罪</sup>を嫌いになっていった。信じられるのは大人の私。勇気のある私。綺麗な私。正体がバレたら終わりだ。大人の私じゃないとダメだ。気が付けば、そんな風に考えるようになっていた。

だから私は自分の正体がバレるのが怖かった嫌だった。そんな事を考えただけで変身が解けてしまいそうだった。常にその事ばかりを気にしてASTと戦っていたせいで変身が一瞬だけ解けちゃって、そこにいた土道に私の正体がバレた。まあ、私の思い込みだったけど。でも、バレたと思った私は徹底的に土道を社会的にこの世から消そうと考え行動した。自分の思いつく最悪な事をたくさんして土道を苦しめて困らせて土道の人生を滅茶苦茶にしたのに、それでも土

道は今までの偽善なんかじゃない、本当の優しさで私を許してくれた。正直士道は、私が思い描いていた以上の人だった。心の底から優しく、甘くて、お人好しで、ジゴロだけど、暖かい気持ちにさせてくれて、笑顔が似合う素敵なお人。

さてと、ずいぶん長いこと書いて疲れたから今日はここまでにしましょうか。今はまだ、口に出して言えないから日記に書くけど。でも、いつか必ずこの気持ちを伝えてみせる。

士道ありがとう、こんな私なんかを好きだなんて言ってくれて。私も心の底から士道の事が大好き！

○月B日

どうしよう、昨日あんな事とか殴り書きしたページの次に書くのってものすごく恥ずかしい！でも、やっぱり今日の事は書きたいから書こうと思う。

んんっ！よし！

士道、今日はデートに連れて行ってくれてありがとう。それと照れ隠しのつもりだったけど、心配させたのならごめんさい。あと、デートの前にも言ったけど美九と一緒にデートは本当にやめてよね。独占欲……もあるにはあるんだけど、一番の理由は美九が事ある毎に私の服を脱がそうとしてきて凄く疲れるからだし、なにより二人つきりならまだしも美九のペースに流されて好きな人にならぬ姿を見られるのなんて嫌だから。べ、別に二人つきりなら良いって訳じゃないからね！ほんと、思わず無意識に出してたへハニエルで殴りかけたんだから！

そんな感じのデートだったけど、服とか髪とかメイクとか褒めてくれたり、私なんかには勿体ない服とか靴とか買ってくれてありがと



でも別に失敗作のやつなんて食べなくて良かったのに。しかも……七罪の愛が込もってて美味しいとか恥ずかしげもなく言うあたり、さすがは土道だなと思った。待つてなさい、今からたくさん練習して必ず土道の胃袋を掴んでみせるんだから！

○月E日

今日は土道と耶俱矢と夕弦と一緒に買い物に行った。耶俱矢と夕弦が先々行くせいで、追いかけるこっちが大変だった。まったく二人ってば、良い歳して子供みたいなんだから。あと、買い物カゴに次々お菓子入れるんじゃないわよ！土道の財布の事も考えなさいっての。ああっ！また土道の諭吉が！って夕弦！またお菓子をとって、えっ？バナナはおやつに入りますか？今はそんな事を言ってるんじゃないわよ！

ああもうっ！ちよつと、私ばっかじゃなくて土道もビシツと言ってやんなさいよ！そんなゾンビみたいな顔して何が大丈夫よ。相手を思いやれる事は素晴らしいけど、甘やかし過ぎるのは良くないんだから！

はあ、まったく土道は優し過ぎるわよ。今度もう一度あの二人にビシツと言ってやらないと。あと、私の好きなお菓子買ってくれて、ありがと。

## 七罪の看病日記

○月F日

おかしい。五河家に来たのに、土道以外誰も居ないなんて。もしかしてあれ？好きな男と二人つきりにして、その反応を楽しむむやつ？……：家中捜し回ったのに土道以外誰もいない。え？夕食の買い出しに行った？それを早く言いなさいよ！

どうしよう……。な、何か話さないと。……全然思い付かない。はあ、本当にどうしよう。げ、ゲーム？……別にいいけど。ジャンルは格ゲーか。私、こう見えて結構格ゲーとか得意なのよ？……悪かったわね、以外で。土道のバカ。

ふんっ、謝っても手加減なんかしてあげないんだから。

っ!?ちよっ、土道!そんなに、くっつかないでよ!

つい、大声出しちゃったけど……どうしよう、心臓が、うるさいぐらいバクバクいってる。自分でも顔が赤くなってるのが分かる。意識しちやつてる顔を見られたくなくて、思わず反射的に顔を逸らしちゃった。

凄く気不味い。どうしよう……。えっ?ホラー映画?全然怖くなんかないわよ!以外で悪かったわね!どうせ私は背が小さくて体も貧相な根暗ロリよ!

つい啖呵切っちゃったけど、ホラーとか正直苦手なんだけど。ま、まあ、偶然とか装って土道と手とか繋げる絶好の良い機会よね。大体こんなの、ただの作り話じゃない!こんなのに怖がる事なんてないのよ!

ぎややややああああ!うきやああああああ!土道、どんどん人がゾンビまみれになっていく!?!ちよつとそれ死亡フラグ!だ、ダメ……む、無理!怖すぎて夜寝れなくなる!つて……土道、いつの間握手ってたの?

私が怖がりそうな所から?……ありがと。っ!ええそうよ!啖呵切ったのは良いけど、予想以上に怖くて終始怯えてたわよ!悪かったわね!その……気使わせて、ごめん。うん。次からは素直に



言えるように努力する。

あ、みんな帰って来た。ちよつと美九！ホラー映画プレイって何よ！言わなくて良いわよバカ！

○月G日

ゾンビの顔が脳裏に焼き付いて眠れないから日記を書こうと思う。とりあえず、炬燵のスイッチを入れてホットミルクを用意する。土道も眠れない時はこうしているらしい。炬燵に入りミルクを一口。顔を上げると電源の入っていないテレビの液晶画面にコップを持った不機嫌な自分の顔が写る。

いろんな表情をしてみても、死にかけの人間が無理やり笑顔をかべたりガンを飛ばしているようにしか見えなかった。一人で何やってるんだろ、バカみたい。今日は、炬燵で寝ようかな。もし風邪引いたら、土道が看病してくれるかな……。炬燵に入りながら土道の顔を思い浮かべるだけで、不思議と眠くなって意識が薄れていく。

寝る前に、お休み土道。

○月H日

へっくちゅん！けほつ、けほつ！38度6分。どうしよう、本当に風邪引いちやった。ただの冗談だったのに……。

とりあえず着替えないと……。あれ？ボタンがうまく外せない。きやあつ!?ちよつと土道！いきなり部屋に入って来ないでよ！びっくりするじゃない！

あー、琴里に聞いたのね。でも大丈夫よ。このぐらい、大した事ないから。それに私の看病なんかしてたら、どんな病気にかかるか分からないし、こんな根暗でブスで貧相ロリの看病なんて拷問以外のなものでもないでしょ？大丈夫、大丈夫だって……。あれ、視界が揺れ

て……………土道？なんで土道の顔が、こんなにも近くにあるの？もしかして私……………今抱き締められてる？

真剣な顔で土道が、私の言葉を否定してくる。

『そんな事ねえよ。ネガティブな所も七罪らしくて良いじゃないか。人間の個性なんて人それぞれだからさ。それに、これは俺がやりたくてしてるんだ。もし、七罪の風邪が移っても七罪が看病してくれるだろ？』

ほんと、土道のバカ。そんなの当たり前じゃない。もし、私の風邪が移ちやったら、責任持って看病してやるわよ！

そこで、私の意識は途絶えた。

○月I日

目を覚ますと、土道が私の手を握っていた。目が覚めたら好きな人が手を握ってくれていたとか、アニメや漫画だけだと思っていたんだけど。実際に体験してみると嬉しさと恥ずかしさ、そして安心感が込み上げてくる。土道の寝顔、可愛い。もしかして、ずっと私の看病してくれてたのかな？……………そう思うと顔が綻んでいるのが分かる。好きな人に看病してもらえらるなら、こんな生活も悪くないわね。……………今日は、このままでもいいようなかな。

……………土道、瞬間轟爆破ってなに？

○月J日

37度2分。そろそろ熱も下がって来たし、もう大丈夫ね。

土道、今までずっと看病してくれてありがとう。もし、看病して欲し

くなつたら言いなさいよ？少しくらいは役に立てると思うから。風邪を引いた土道を看病する自分の姿を想像してしまい、不謹慎だけどそういうのもアリだと思つてしまった。ま、風邪なんて引きたくて引くものじゃないわよね。私つてば何考えてるんだろ……。

ちよつと、なんで土道まで風邪引いてんのよおおおおくくく!!

## 七罪の看病日記2

○月K日

はあ、まさか土道に風邪が移るとは思ってたなかった。いや、もちろん看病するわよ。……土道が嫌じゃないのならだけど。あんな事まで言っちゃったし。我ながらバカだと思う。私みたいなブスで根暗で幼児体形で気持ち悪い奴を看病して土道も疲れてるのに、好きな人に看病されたからって調子に乗って舞い上がってフラグ立てて土道に風邪移して……ごめんなさい、責任取って死にます。

ふえっ？私に看病されたかった？私に看病されるところを想像して興奮した？……っ！へ、変態！土道のロリコン！歩く天然ジゴロ！女誑し！このDM！最後のは関係ない？うるさいわよバカ！

つい嬉しくなって照れ隠しで土道に罵詈雑言を浴びせてしまった。顔が熱く、土道の顔を直視出来ない。俯いたまま深呼吸をして気持ちを落ち着かせる。

あははと苦笑しながら落ち着いたか？と土道が聞いてくる。その一言で理解した。私のネガティブ思考を断ち切るために態とあの様な発言をしたのだと。私が風邪を移したっていうだけでも申し訳ないのに、病人に気を遣わせるなんて……罪悪感で押し潰されそうになる。でも、土道も物好きよね。よりによって精霊達の中で一番面倒くさい私に看病して欲しいなんて。でも嬉しい。少しは土道に頼られてると思うと胸が暖かくなる。……本当に土道は底抜けに格好よくて、優しくて、そんな土道が大好き！

この想いを土道に伝えようと顔を上げると、土道はすうすうと寝息を立てていた。起きている時とは違う可愛いらしい寝顔に思わず頬が緩む。こんな、他人を信じる事を恐れている精霊を信頼して寝ている。そう思うと幸福感と、ほんの少しのいたずら心が芽生えた。土道が悪いのよ、私みたいな面倒くさい精霊を信じるから。土道が寝ているベッドの上にそおつと上がって……

——んっ、ちゅっ。

キスをする。唇と唇を触れ合わせるだけの子供のキス。それで

も私の心には幸福感が満ちていく。好きな人が寝ている時に、いけない事をしていると考えると少しの羞恥心と背徳感に思わず心が踊る。

ふふっ土道、おやすみ。誰かを信じる事は素晴らしい事だつて教えてくれてありがとう。どうか、土道の風邪が早く治りますように。

○月○日

——しまった。昨日、土道にキスした後そのまま眠っちゃったんだった。寝顔、見られてたわよね。……っ！恥ずかしすぎて死にそう。そんな顔を土道に見られたくなくて慌ててベッドから飛び降りる。ええと、まずは体温を計らないと。あ、あれ？——体温計がないっ!?!ど、どうしよう……買いに行く?むっ、無理!一人で買い物に行くとか、どんな詐欺師とか通り魔とか変質者に遭うかわからないわ。言葉巧みに騙して見た目はゴミだが臓器は高く売れそうだなあ、とか。背後から走って来た奴に刺されたりとか、そんな展開になるに決まってるわ。嫌よそんなの。だってまだ土道に、この想いを伝えてないんだから。

ふと、名前を呼ばれ我に返る。振り返ると心配そうな顔の土道がいた。ああもうっ!なに土道を心配させてんのよ私のバカ!体温計が無いくらい何よ!他にも体温を測る方法なんてあるじゃない!たとえば……お、おでこをくっ付けるとか。——っ!!は、恥ずかしいけど。そ、そうよね。体温計がないんだからしょうがないわよね。そう自分に言い聞かせて、未だ心配そうな顔の土道のおでこ私のおでこをくっ付ける。う、うるるるささいいわね!体温計がないんだから仕方ないじゃない!それより、大人しくしてなさいよ!上手く測れないじゃない!ってあれ、土道の体温が高いのか低いのか分からない。土道の方が高い?それとも私の方が高い?……こんなので分かる訳ないじゃない!ちよつと待ってなさい、四糸乃と体温計買ってくるから!

○月M日

はあ、昨日の買い物は疲れた。やっぱり外出なんてするものじゃないわ。四糸乃を誘ったのに、何故か二亜まで着いてくるし。街中で「ラジエル」出して土道の行動を観察？してるし。それにしても、さすが全知の「ラジエル」ね。便利すぎでしょあれ。私も今度、「ハニエル」で模倣してみようかしら。話が逸れたけど、昨日の買い物は主に二亜の所為で疲れた。「ラジエル」を使って土道をおもちゃにするし、少年に食べさせてあげたい物があるとか言って、精力剤とか買おうとするし、折紙がよく行くっていう怪しい店に寄りだすし。ほんと、体温計を買うだけでとんだ苦労だったわ。まあでも最後に、精がつくお粥の作り方っていう本をくれたのは嬉しかった。はあ、最初からそうしてくれば良かったのに。あと、四糸乃も土道のために花をくれてありがと。昨日は二亜に貰った本のお粥を食べさせてあげた。

日記を書くことに集中しすぎていたらしい。気が付くと、もう今朝の朝食の時間だった。今日も二亜に貰った本を片手に、風邪を引いた時に食べやすいお粥っていう項目のお粥を作っていく。昨日作ったお粥と一緒にものだけど、美味しく出来ているかは分からない。昨日は美味しいって言ってくれたけど、今日も美味しく出来上がってるとは限らない。もし不味いって言われたら……病人にゲテモノを食べさせた責任として——死のう。

良い奥さんになれるなって、何言ってるのよ！そ、そんな……まだ早いわよ。な、なんでもないわよ！さっさと口開けなさい！はい、あくん。どう……美味しい？……なら良かった。土道、ありがと。

○月N日

どうやら、本当に風邪が治ったみたいね。って、なんで急に人の頭撫でるのよ!……嫌なわけ、ないじゃない。こっちこそ、看病してくれてありがと。それと、風邪移しちゃって……ごめん。うん、また明日。

士道が五河家に帰って行った。はあ、もう少し居て欲しかったなあ。——きやあ! って何よ士道! 帰ったんじゃないの!?! え、忘れ物? まったく、士道もうっかりして——つ!? ちよ、ちよつと士道! なんて頬つぺたにキスするのよ!?! 忘れ物はどうしたのよ!! はあつ!? 忘れ物は……感謝のキス!?! バカじゃないの!?! 元気になったのなら早く出て行きなさいよ!! ——はあつ、はあつ、はあつ、まだ顔が熱くて心臓がバクバク言ってる。とりあえず、深呼吸をして心臓の鼓動を落ち着ける。顔の熱も引いて、なんだか眠たくなってきた。はあ、今日はもう寝よ。そういえば私、いたずらのキスはしたけど感謝のキスしてないじゃない!?!

○月〇日

今日は暇だから、久々に『ポラリス・オンライン』という自由度の高いゲームをやると思う。このゲームでの私のアバターは、理想の自分である大人の私をイメージして作ってある。名前はクライム。レベルは45で職業は上位魔法職のハイアルケミスト。ダンジョンとかには興味ないしレベルとかどうでも良いし、NPCなら別だけど他のプレイヤーとコミュニケーションなんて無理だから45レベルで止まっている。暇な日は、たいてい部屋に籠って『ポラリス・オンライン』をしている。最初は、ただのダンジョンゲーかと思っていただけ自由度が高いというのは本当で、かなり細かい所まで設定できる。そして最近嵌っているのが、家の建築である。嵌まり過ぎて、屋敷レベルの家を造ってしまった……森の中に。しようがないじゃ

ない！どこか人の来ない所に小さな家でも建てようかなと思ったらず想以上の物が出来ちゃったんだから！あと、畑耕すのとかも楽しすぎるのよ！あ、素材無くなった。街に行って買ってこなきゃ。どうか、誰も絡んで来ませんように！

久々に街にやって来て、他のプレイヤーの会話文を読んでいく。どうやら最近、森に豪華な屋敷を持つ強力な魔女が出現するらしい。なんでも、その魔女の敷地内に足を踏み入れたプレイヤーのキャラが一瞬にして死んだらしい。しかも、その屋敷からは夜な夜な呪いの旋律が聴こえてプレイヤーのキャラにステータス異常を与えるらしい。森のボス強過ぎでしょ!?!と買ったけど運営のお知らせには、そのような告知はないので恐らくプレイヤーだろう。はあ、私の拠点も森にあるんだけど……最悪。まあ、いいわよ。そいつの敷地内に踏み入れなきゃ良いだけだし。森に家を建てるなんて、もしかして私みたいにコミュニケーション力に自身が無いのかしら。でも、呪いの旋律とか怖いし探索とかはやめておこう。さて、素材も買い直したし拠点に戻りましょうか。ええと、今って拠点のレベルどのくらいだっけ？……まだ、55か。はあ、100レベルまで遠いわね。ん？屋敷の地面の中に何か埋まっている。ああ、そういえば露店のNPCから購入した意味不明なゴミアイテムだったわね。なんか、死の髑髏とかいう厨二病っぽい名前だし、効果……??!だし、露店にも出せないし売店にも売れないから地面に埋めたんだったわね。はあ、さて今夜もピアノを弾きましようか。私自身はピアノとか弾けないから、自分のキャラだけでも演奏して欲しい。そう思い、毎夜恒例の自分のキャラによる演奏を聴く。ピアノの下までキャラを進めると、自動で演奏を始めるのだ。なかなか、素敵なメロディーだと思う。自分的には、このメロディーは気に入っている。さて夜も遅いし、もう寝ようかしら。……おやすみ、土道。